



給食で使用するたまねぎの皮むきの様子(中部学校給食センター)

6月 定例会

議会活性化特別委員会を設置

市議会は、6月定例会を6月6日から6月29日までの24日間の会期で開催しました。今定例会では、市長から提出された令和4年度一般会計補正予算をはじめ、袋井市議会議員及び袋井市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正など12議案と2件の報告と、議員から特別委員会の設置についての議案が上程され、採決の結果、原案どおり可決・同意しました。

また、市政に対する一般質問では、12人の議員が市長・教育長の見解をただしました。

◎議決した主な議案

令和4年度一般会計補正予算

今回の補正予算は、第1号から第3号まであり、主に次に掲げる事業のために、7億5700万円を増額するものです。これにより、補正後の一般会計予算総額は、373億3700万円となりました。

〈第1号〉

●低所得の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 9900万円

低所得の子育て世帯に対し、物価高騰などの実情を踏まえた生活の支援を行うため、対象児童1人当たり5万円を支給する。

〈第2号〉

●新型コロナウイルスワクチン接種事業(60歳以上4回目接種など) 1億4800万円

4回目の新型コロナウイルスワクチン接種及び1回目から3回目接種に係る経費を追加する。

また、債務負担行為補正が行われました。

●メロップラザ指定管理委託

《期間》令和4年度～令和6年度
《限度額》7800万円

〈第3号〉(主なもの)

●住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 1億200万円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、令和4年度の住民税非課税世帯に対して1世帯当たり10万円を給付し、速やかに生活・暮らしの支援を行う。

●ふくろい応援商品券発行事業(第3弾)

1億5000万円

原材料や物流費の上昇分を価格転嫁する動きが広がっていることから、経済活動を停滞させないため、プレミアム付きのふくろい応援商品券を発行し、地域経済活性化と事業者支援を図る。